

I 第49週の発生動向 (2009/11/30~2009/12/6)

1. インフルエンザについては、県内すべての保健所管内において**警報**が発令されています。
2. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第44週から**警報**が継続しています。

II 第49週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)				
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点			
小児科 内科	(85)	インフルエンザ	666	47.6	667	44.5	419	29.9	312	44.6	583	64.8	384	64.0	3,031	46.6	103	39	19.5	627	52.3	
小児科	(74)	RSウイルス感染症	28	3.1	20	2.2			9	1.8	3	0.5			60	1.4	6			28	3.5	
	(75)	咽頭結膜熱			3	0.3							2	0.5	5	0.1	1					
	(76)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	1.7	7	0.8	1	0.1			6	1.0	9	2.3	38	0.9	13	1	1.0	14	1.8	
	(77)	感染性胃腸炎	25	2.8	6	0.7	8	0.9	5	1.0	3	0.5	11	2.8	58	1.4	22	4	4.0	21	2.6	
	(78)	水痘	24	2.7	10	1.1	2	0.2	4	0.8	10	1.7	11	2.8	61	1.5	0			24	3.0	
	(79)	手足口病			4	0.4	4	0.4			5	0.8			13	0.3	12					
	(80)	伝染性紅斑	6	0.7			2	0.2			10	1.7			18	0.4	2				6	0.8
	(81)	突発性発しん	4	0.4	3	0.3	3	0.3	2	0.4	4	0.7	2	0.5	18	0.4	6				4	0.5
	(82)	百日咳															0					
	(83)	ヘルパンギーナ															0					
(84)	流行性耳下腺炎	6	0.7	2	0.2	5	0.6	2	0.4					15	0.4	3				6	0.8	
眼科	(86)	急性出血性結膜炎														0						
	(87)	流行性角結膜炎														-3						
基幹	(95)	マイコプラズマ肺炎			1	1.0	5	5.0					1	1.0	7	1.2	4					

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸3人、五所川原1人、上十三3人、青森市1人 (21年計：312人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：上十三1人、青森市1人 (21年計：14人)

IV 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の惑

感染経路

病原体の感染経路には、飛沫または飛沫核、接触、経口等による感染経路があります。



・**飛沫感染**：患者のくしゃみや咳が届く距離で、つばの中にある病原体を吸い込むことによる感染。例：インフルエンザ、風しん、RSウイルス感染症、クラミジア肺炎、百日咳など。



・**接触感染**：患者のつばや鼻みずが手から手へ、またはドアノブなどを介して手に付着する場合や粘膜を介した感染。例：インフルエンザ、水痘、帯状疱疹、流行性角結膜炎、百日咳、後天性免疫不全症候群など



・**飛沫核感染**：別名空気感染。患者の咳やくしゃみなどによって空気中に出た病原微生物が、長時間空気中に漂い、微粒子(飛沫核)となって浮遊しているため、埃と一緒に呼吸などによって吸い込むことによる感染。例：麻しん、水痘、結核など。



・**経口感染**：病原体によって汚染された水や食品等を介して経口的に感染。例：ノロウイルス、サルモネラなどによる感染性胃腸炎、A型肝炎、E型肝炎、腸管出血性大腸菌感染症、細菌性赤痢、エキノコックス症、クリプトスポリジウム症など。

V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

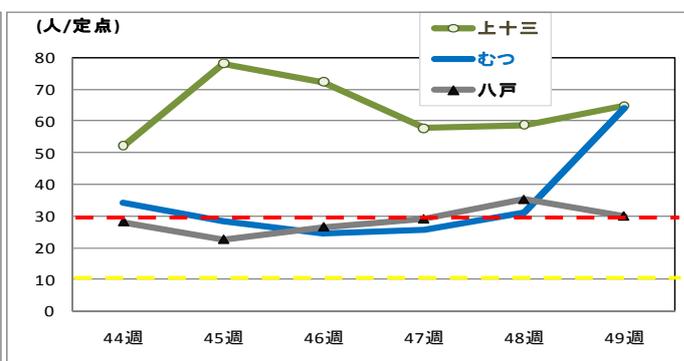
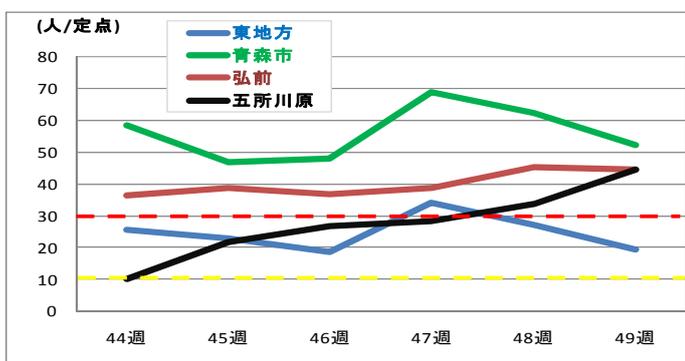
・青森県全体の届出数は 3,031 人 (103 人増) です。

	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週
東地方+青森市	注意報	警報						
弘前	—	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報
八戸	注意報	注意報	注意報	注意報	注意報	注意報	警報	警報
五所川原	—	—	注意報	注意報	注意報	注意報	警報	警報
上十三	注意報	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報
むつ	—	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	39	667	419	312	583	384	627
A型	39	663	258	312	570	383	606
B型	0	4	7	0	0	1	1
不明	0	0	154	0	13	0	20

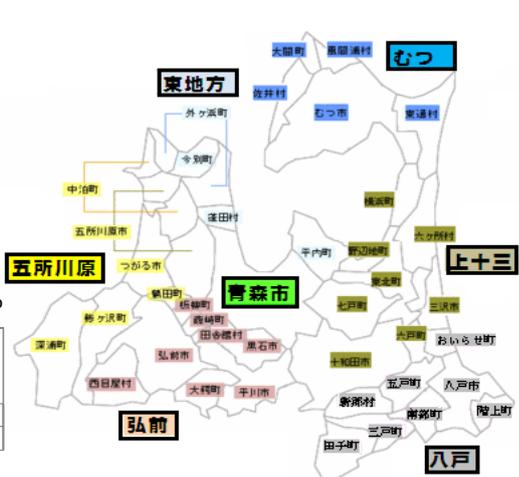
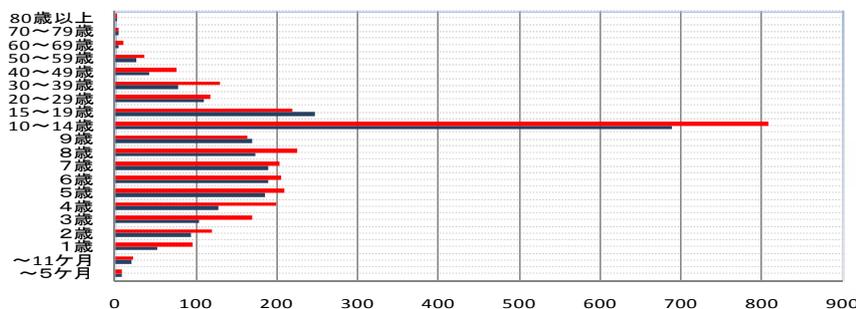
V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移



・警報開始基準値は 30 人/定点 (図赤破線)、終息基準値は 10 人/定点、注意報開始レベルは 10 人/定点 (図黄色破線) です。

V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位: (人)

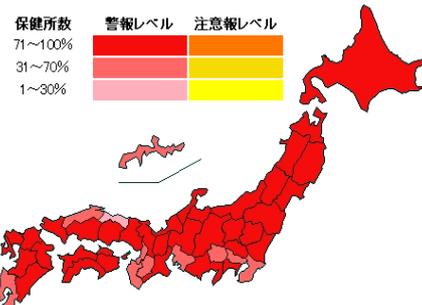
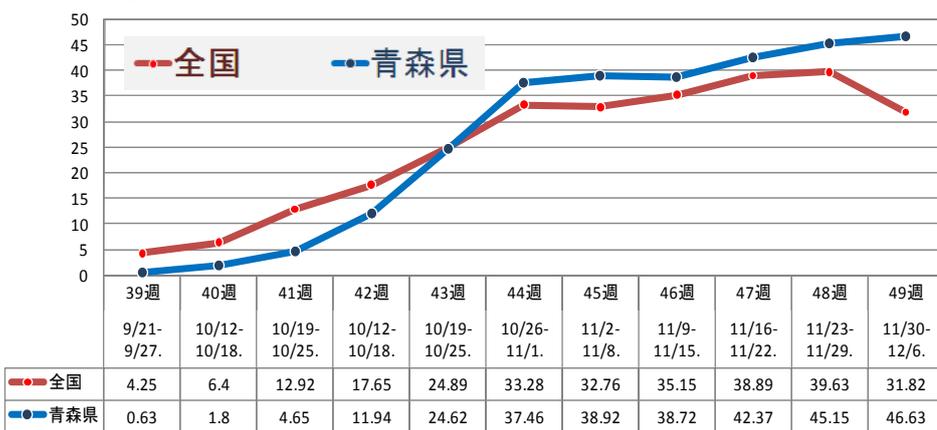
(青森県保健所管内マップ)



年齢	49週	48週	11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
49週	9	23	96	120	170	200	210	206	203	226	164	809	219	118	130	76	36	11	4	1	
48週	9	21	53	93	103	128	186	189	189	173	169	689	247	110	78	43	26	5	4	2	

V-4 全国比較 (2009年39週~49週)

(人/定点)



第 49 週感染症発生動向調査において、全国都道府県すべてにおいて、警報発令保健所が存在しています。